

| | | | | | | | |
|--------------------|---|---|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名 Course Name | 介護総合演習 I Care Practice Support I | | | ナンバリング No. | J1-010 | | |
| 年次 | 1年 | 期別 | 前期 | 単位数 | 1 | 授業形態 | 演習 |
| 担当者氏名 | 久保 由佳 | | | | | | |
| 連絡方法 | C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(介護福祉士養成課程必修) | | | | | | |
| 関連 DP | DP1, DP2, DP3 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>介護実習に必要な基本的知識について学び、利用者像を理解する。また、各授業で学習している知識・技術を具体的かつ実践的に結びつけ、生活の場や介護の場の理解につなげる。さらに、記録することの意義と必要性を理解し、具体的な記録方法について学ぶ。</p> <p>①介護実習の意義、目的、内容を説明でき、実習をイメージできるようにする。 ②実習先となる施設の概要と利用者像を述べられるようにする。 ③実習生および援助者としての心構えができ、マナーのある行動ができるようにする。 ④実習記録の意義と目的を説明でき、適切に記録ができるようにする。 ⑤各授業で学習した内容を関連づけながら、基礎実習 I に向けた自己の目標や課題を明確にできるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 講義、演習、視聴覚教材の視聴、グループワーク等、多様な授業形態をとる。第 14 回目の実習記録に関する授業では個別指導も行う。基礎実習 I の実習前学内オリエンテーションと反省会は別途実施する。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | 介護実習に必要な基本的知識を習得し、実習に向けた準備をすることができる。 | | | | | |
| | L02 | 実習に対する心構えができ、社会的マナーも含め、責任ある行動をとることができる。 | | | | | |
| | L03 | | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 実習日誌の課題は、添削後、個別に指導しながら返却する。各自の課題達成状況に応じて、個別指導とフィードバックを繰り返す。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | 最新・介護福祉士養成講座 第 10 巻「介護総合演習・介護実習」中央法規出版 介護実習の手引き | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | ●実習用の証明写真を準備する。詳細は授業で説明する。費用は自己負担となる。●実習開始に合わせて、新型コロナウイルス感染防止対策に関する内容を説明する。●教材以外のものは机の上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。 | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|--|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | S 評価は、使用する教材を準備し、必要なことはノートにとっていること。課題や実習関連書類の提出期限を守っていること。 | | 20 | | |
| レポート/作品 | 【レポート1・3】テーマに沿った学び・気づき等、自分の考えが具体的に記述できている。 【レポート2】調べた内容をわかりやすく対比表にまとめている。 | 20 | 20 | | |
| 発表 | | | | | |
| 小テスト | | | | | |
| 試験 | 介護福祉職や介護サービス、関連法律について出題する。 | 20 | | | |
| その他 | 【レポート4】指定日を実習日誌に記録する。S 評価は、記録方法に沿って見やすく書けていること。学び等、自分の考えが記述できていること。 | 20 | | | |
| 合計 | | 60 | 40 | | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|--|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法など) 「介護実習の手引き」について説明 |
| | 事前・事後学習 | 介護実習のシラバスを読む。授業や実習で使用するノートやファイル等を準備する。 テキスト P4、P33 の表を読み、介護福祉士養成カリキュラムの全体像を知っておく。テキスト P23～30 を読み、実習 I・II の枠組み(目的、内容など)から、実習をイメージする。 |
| 2 | 授業内容 | 介護実習の理解(意義と目的)、視聴覚教材「介護の現場で学ぶ～高校生のための社会福祉実習～」の視聴【レポート1:VTRを視聴した感想と学び、提出は次回授業時】 |
| | 事前・事後学習 | VTRを視聴した感想と学びをまとめる。実習の全体像を確認し、イメージをつかむ。 授業の内容をノートに記載する。福祉小六法などを使い、「社会福祉士及び介護福祉士法」や「介護福祉士の定義」を調べてみる。 |
| 3 | 授業内容 | 基礎実習 I の準備(実習施設、実習先希望調査について説明) 実習先施設の理解① 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)を中心とした生活の場の理解 |
| | 事前・事後学習 | 学内にある資料やインターネットを活用して実習先を調べる。 介護老人福祉施設と特別養護老人ホームの根拠法を覚える。テキスト P112～124 を読む。 |
| 4 | 授業内容 | 実習先施設の理解② 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) |
| | 事前・事後学習 | テキスト P112～124 および配布資料を読む。介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の概要をノートに記載する。 |
| 5 | 授業内容 | 実習先施設の理解③ 介護老人保健施設、通所施設(デイサービス・デイケア) 【レポート2:対比表の作成、提出は第11回目の授業時】 |
| | 事前・事後学習 | テキスト P125～135、P90～111 を読む。介護老人保健施設と通所施設(デイサービス・デイケア)の概要をノートに記載する。 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)と介護老人保健施設の対比表を作成する。 |
| 6 | 授業内容 | 実習形態と方法、実習の流れ(事前事後を含む)、介護実習を行うための基準(非該当)の説明【レポート3:指定図書を読んだ感想と学び、提出は第9回目の授業時】 |
| | 事前・事後学習 | 「介護実習の手引き」を読む。介護実習前・中・後、全体の流れをイメージする。実習に必要な持ち物を準備する。 |
| 7 | 授業内容 | 実習時のマナー① 身だしなみ・言葉遣い等(社会的マナーを含む) |
| | 事前・事後学習 | テキスト P56 を読む。実習に臨むためのマナーや心得を確認し、ノートに記載する。 実習時の服装を考え、準備を始める。指定図書を読み、感想と学びをまとめる。 |
| 8 | 授業内容 | 実習時のマナー② 心構え、「ほう・ねん・そう・かく」、注意事項、事前訪問について |
| | 事前・事後学習 | 「介護実習の手引き」P10、テキスト P60・61 を読む。事前訪問までのスケジュール(流れ)を確認する。 |
| 9 | 授業内容 | 実習時のマナー③ 電話のかけ方、御礼状の書き方 |
| | 事前・事後学習 | 配布資料を読み直す。家族や友人に協力していただき、電話をかける練習(ロールプレイ)をする。テキスト P66・67 を読む。御礼状に必要な便箋と封筒を準備する。基本的な手紙の書き方を覚え、御礼状を手書きで書いてみる。 |
| 10 | 授業内容 | 実習記録① 記録の必要性とその方法(「介護実習の手引き」に沿って説明) |
| | 事前・事後学習 | 配布資料および「介護実習の手引き」P9 を読む。実習記録の書き方や提出方法について、授業での内容を整理し、ノートに記載する。 |
| 11 | 授業内容 | 実習記録② 具体的な記録の方法 |
| | 事前・事後学習 | 授業の内容をノートや「介護実習の手引き」に記載する。第10回授業時の配布資料を読み直す。 |
| 12 | 授業内容 | 実習記録③ 実習日誌の記録方法 【レポート4:指定日を実習日誌に記録する、提出期限は授業で指示する】 |
| | 事前・事後学習 | 実習日誌の見本をよく読む。指定日の実習日誌を書き、提出する。 |

| | | |
|----|----------------|---|
| 13 | 授業内容 | 基礎実習 I の準備(実習関連書類の配布・記入) 実習に向けた感染対策 |
| | 事前・事後学習 | 実習関連書類の作成、提出。感染対策を実行する。 |
| 14 | 授業内容 | 実習記録④ 実習日誌の書き方(個別指導) 基礎実習 I の準備(検便容器の配布・説明) |
| | 事前・事後学習 | 実習日誌の書き方を覚える。課題の添削内容をもとに、記録時の留意点をノートや「介護実習の手引き」に記載する。 |
| 15 | 授業内容 | 基礎実習 I の準備(実習記録一式を配布) 授業のまとめ(実習記録の書き方・目標の立て方を中心に説明) |
| | 事前・事後学習 | 授業の内容をノートや「介護実習の手引き」に記載する。実習記録の書き方を覚える。 目標の立て方をもとに、基礎実習 I に向けて、様式 2「実習に臨んでの課題・抱負」を作成する。実習のスケジュール(流れ)に沿って準備・行動する。 |